

令和8年2月17日

## 令和7年度練馬区立旭町小学校 学校評価報告書

練馬区立旭町小学校  
校長 清水 誠

### 1 自己評価結果

#### (1) 概要(成果・課題及び改善策)

##### 【児童アンケート結果および保護者アンケート結果】

##### 学校についての内容(学習指導)

- ・「学校は授業を工夫し、わかりやすく指導している。」の項目では、児童の97.2%が肯定的な回答であり、4.7%の保護者の方が「わからない」との回答(昨年比-4ポイント)であった。日頃の授業の様子を今後もホームページ等で強力に発信していくとともに、より分かりやすい授業を実施していく。
- ・「道徳教育を通じて、いじめの指導や心の教育に努めている。」の項目では、「分からない」と答えた保護者が10%であった。(昨年度比-3ポイント)引き続き、道徳についての取組を学校だよりや学年だより、学校ホームページやS i g f y等で積極的に発信していく。

##### 学校についての内容(教職員の対応)

- ・子どもの悩みについては、教員、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員等が連携を図りながら継続して対応していく。
- ・お便りやホームページ等については、肯定的な回答をした保護者の割合が95.8%であった。今後もホームページやお便りを通じて、子供たちの様子を伝えていく。
- ・保護者や地域の方々との活動については、今年度から「児童応援ボランティアあさひっこ友の会」に組織変更をした。ラジオ体操や運動会の片付け等、多くの保護者の方々にボランティアとして参加をいただいた。引き続き、あさひっこ友の会運営スタッフとの連携を密に取っていく。
- ・施設設備等については、引き続き安全点検を定期的に行っていく。

##### 児童についての内容(学習指導)

- ・主体的な読書については、肯定的な回答をした保護者の割合が、昨年度比で5ポイントマイナスであり、2年前と比較するとマイナス12ポイントであった。家庭で読書がされていないことが伺える。今後は、タブレットを利用した電子図書館を含め、さらに意欲的に読書に取り組めるような活動を工夫していく。
- ・学習理解・家庭学習については、昨年度と比較しどの項目も横ばいであった。今後も、基礎基本がより身に付くように、東京ベーシックドリルやタブレット端末から使用できるドリルパークの活用を推進していく。

##### 児童についての内容(あいさつ運動等)

- ・あいさつについては、肯定的な回答をした保護者が90%であった。(昨年度比+7.3ポイント)今後は、学校だけでなく、家庭や地域においても主体的にあいさつができるように継続的に指導していく。
- ・外遊びや運動については、約8割の保護者と児童が肯定的な回答をしている。今後は、体育の授業を通して運動の楽しさを味わわせるとともに、体力向上につながる体育的行事をさらに工夫していく。

##### 児童についての内容(家庭での会話)

- ・家庭での会話については、約 8 割の保護者、児童ともに肯定的な回答であり、昨年度と比較しても変わりはない。  
いじめや生命に関わること等についての S O S は、必ず大人に伝えるように指導をしている。
- ・SNS ルールについては、保護者と児童の肯定的な回答の差が 26.1 ポイントもあり、児童においては 60.8% と低い状況であった。児童の意識を高く保つために家庭での話し合いを強く促していく。

児童についての内容（学校生活）

- ・学校生活の楽しさについての質問では、9 割以上の保護者と児童が肯定的な回答だった。今後も学習、生活、行事等の教育活動全体を通して教育目標の実現を図り、児童が健やかに伸び伸びと成長していけるように、そして、どの児童にとっても安心して楽しく過ごせるように、教育活動に尽力していく。

#### 【教職員による自己評価結果】

配慮を要する児童の情報共有、ペーパーレス化のより一層の推進、タブレットの活用、教職員の負担軽減（働き方改革）等が課題として挙げられた。配慮を要する児童の情報共有については、スクールカウンセラーと担任、管理職が同じ情報を共有したうえで、適切な保護者面談が実施できるように、連絡ノートのデジタル化を進めていく。タブレットの活用においては、ICT 教育推進担当教員を中心に教員のニーズに応じた研修を ICT 支援員と計画的に実施し、効果的な活用を図っていく。教職員の校務負担軽減では、分掌の人数割り振りに軽重をつけたり、起案文書や教育計画のデジタル化をしたり、担任の学校徴収金業務の一部を事務職員と分担したりしてきた。今後も、子供と向き合う時間の確保のため、各行事の実施の仕方や適切な時数の管理を行っていく。

#### 【小中一貫教育および幼保小連携】

6 年生の部活動体験、中学校の授業体験、あいさつ運動等の活動を豊浜中学校と行った。小 1 プロブレムを改善し円滑な接続ができるように、今年度も旭幼稚園、旭町保育園、旭町第二保育園、さくらさくみらい旭町保育園および田柄保育園とそれぞれ 2 回ずつの交流会（合計 4 回）を実施し、園児との交流を図ってきた。また、旭町保育園の保護者会に校長が参加し、小学校生活に備えての話をしたり、質問に答えたりするなど、保護者の不安の解消に努めた。

#### 【いじめ問題】

学校いじめ防止基本方針に基づいて、毎週金曜日に生活指導夕会を行うとともに適宜校内委員会やケース会議を開き、いじめの早期発見、早期解決に向けた組織的な取り組みを行ってきた。今後は、校内いじめ対策委員会の役割を明確にするとともに、いじめ防止基本方針について全教職員に周知徹底していく。また、引き続き、いじめと判断されるような事案については、担任や学年だけに対応を任せず、校内委員会やスクールカウンセラー等も活用しながら解決を図り、保護者との連絡を密に行い、信頼関係を築きながら協力体制で解決に臨んでいく。

#### （ 2 ）根拠資料

- ・児童アンケート  
12 月に実施。重点目標への取り組みや教員の授業の振り返りができるよう項目を設定している。
- ・保護者アンケート  
12 月に実施。学校経営計画を意識した項目を設定している。

## 2 学校関係者評価

### (1) 総括

#### 成果

- ・地域や関連機関の方に改めて学校経営方針と本校の実態について理解をいただくことができた。
- ・教育活動に外部の目が入ることで客観的な視点を意識することに繋がった。

#### 話題となった課題

##### <学習指導について>

- ・学年が上がるにつれ、落ち着いて学習をしていることが伺えて安心した。授業がわかると答えた児童が97.2%と聞いて先生方の努力が報われるようで嬉しく思う。
- ・タブレットに入力する際に、キーボードではなく手書き入力をしている子供もいることに驚いた。タイピングができなくても、タブレットを使えることはよいことだと思った。

##### <学校の情報発信について>

- ・保護者アンケートの評価が95.8%と評価結果が高いことは頷ける。具体的な授業や行事の様子が写真とともに掲載されているので、家庭での会話のきっかけになっていると思う。これからも続けてほしい。

##### <その他>

- ・昨年度に続き、SNSルールについての児童と保護者の意識の差が気になった。家庭でのルール作りができるように、これからも働きかけてほしい。また、情報モラルの向上を図ってほしい。
- ・下校時に正門を勢いよく走り出たり、広がって歩いたりしている様子がある。また、放課後、上練馬公園で遊んでいるときに、道路で寝転がっていることがある。命の危険があるため、指導を徹底してほしい。

#### 改善策

- ・中学進学時のSNSトラブルが多いとのこと。卒業前の3学期に、具体的な事例をもとに情報モラルについて改めて指導するとともに、外部識者の出前授業を行い家庭への啓発をあわせて行う。
- ・全校朝会で指導するとともに、各学級で命の尊さとあわせて指導をしていく。また、下校時の見守りを近隣地域の方々に呼び掛けていく。

### (2) 根拠資料

#### 学校だより(記録)

## 3 評価結果の公表等

- ・学校だより「きらめく風」及びホームページを活用して評価結果を公表する。
- ・学校評価結果一覧などについてはc4thに掲示する等、教職員と学校評議員で共有を図っている。

## 4 次年度の学校改善へ向けた校長の見解

- ・学校教育目標の「心ゆたかな子ども」の具現化を図るため、道徳教育全体計画、学校行事年間指導計画、特別支援教育全体計画等を見直し、体験的な活動を取り入れ、児童一人一人の豊かな人間性や道徳性を伸ばしていく。
- ・教科担任制を導入し、児童の学力向上と教員の専門性の向上を図る。
- ・来年度の校内研究を体育科とし、児童の体力向上および教員の体育科の指導力向上を図る。
- ・学校・家庭・地域の三者が連携して児童の指導にあたる。幼保小連携・小中一貫教育を推進し、教育内容や教育方法などの連続性・系統性を高めていく。また、学校

公開や学校評議員会等を通して教育活動や学校の取組などを積極的に公開する。

- ・ 道徳教育の更なる充実を図り、教育活動全体を通して互いを尊重し、共生する能力の育成に努めることでいじめの防止にもつなげる。また、生活指導においては、他者との心の交流の表れである挨拶について指導し、児童が気持ちよく過ごせる学校風土を醸成していく。